

大槌町教育委員会だより



# こずえ 櫛の梢から けやき



## 大槌高校だより

大槌高校の学校生活や日々の様子を町民の皆さんにお伝えします！



大槌高校のnoteでも  
行事などの様子を  
発信しています！

### 「小中一貫教育」と「ふるさと科」で育む大槌の子 ～吉里吉里学園 授業交流会～

10月31日(月)に、吉里吉里学園小学部、中学部の「ふるさと科」の授業交流会が行われました。来年の本公開の前に、大槌学園をはじめ、大槌高校の先生、また町内の保育士が参加しました。今回は5年生の『吉里吉里の海を守る』、8・9年生合同の『避難所設営訓練に向けた計画提案』の授業を公開しました。5年生の授業では、自分たちが体験学習したことや、地域の人が講師となってお話しいただき興味関心をもったことをさらに追究する学習を行いました。8・9年生は、自分たちが中心となって避難所設営するにあたり、事前に考えた提案を外部講師に説明し、改善を図っていくという学習を行いました。どちらの授業も、自分たちの地域をよりよくするために何ができるかを、真剣に考える子どもたちの姿が印象的でした。

#### 5年生「吉里吉里の海を守る」



#### 8・9年生「避難所設営訓練に向けた計画提案」



### 1月に「児童生徒実践発表会」を開催します

各学園で1年間学習した「ふるさと科」の成果を発表する会を、令和5年1月23日(月)午後、大槌学園体育館で開催する予定です。大槌学園からは8年生、吉里吉里学園からは9年生が発表する予定です。さらには大槌高校の生徒も参加し、0歳から18歳までの学びの様子を見ることができる貴重な機会となります。コロナ禍で、地域の皆さんに授業を公開できなかった2年間でしたが、「大槌の教育」で育まれた子どもたちの姿を「ふるさと科」に携わった皆さんにも見てもらえればと思います。また、各学園の先生の研修報告や、島根大学の中村怜詞准教授を講師に招いての「探究的な学習」についての講演を企画しています。実践発表会の様子については、広報にて紹介する予定です。

### ようこそ大槌高校へ！対面での「他校交流会」

大槌高校は、毎年多くの高校から「生徒交流会」の依頼を受け、コロナ禍においても、オンラインを活用した交流の機会をできるだけつくってききました。しかし、現在在籍している生徒は、全員がコロナ禍以降に入学しており、対面での交流をほとんど経験していません。そのような中、これまでも繋がりのあった大阪府立桜塚高等学校と、山形県立小国高等学校との対面での交流会を、10月と11月に実施することができました。両校ともに、事前にオンラインでの交流を経て関係性を築いた上で、来校していただきました。今回は2校との交流会の様子を紹介します！



#### 大阪府立桜塚高等学校との交流

10月5日(水)に、大阪府立桜塚高等学校の生徒会執行部の生徒をはじめとした13名が来校し、大槌高校の生徒会執行部の生徒9名と交流しました。大槌高校と桜塚高校は、2011年に桜塚高校の生徒が復興支援ボランティアで大槌町を訪れたことをきっかけに「さくら協定」を結び、それ以降継続的な交流を重ねてきました。ここ数年はコロナ禍の影響でオンラインでの交流が続いていましたが、今回は久しぶりの対面での交流が実現しました。



##### 事前のオンライン交流の様子

事前にオンラインでの交流を2回実施し、お互いの自己紹介や学校紹介を行いました。桜塚高校の生徒の中には、大槌高校の防災に関する取り組みに興味を持っている生徒が多く、復興研究会の活動の紹介を行うことによって、理解を深めてもらいました。



##### 10月5日(水)の交流会の様子

大槌高校と桜塚高校それぞれが、お互いの地元についての紹介を行いました。大槌高校の生徒からは、「大槌町のいいところ」というお題に対して「地域の人が温かく、やりたいと思ったことを応援してくれるところ」という発言が出ていました。桜塚高校は、関西弁の使い方を寸劇で披露し、会場全体が笑いに包まれて大いに盛り上がりました。



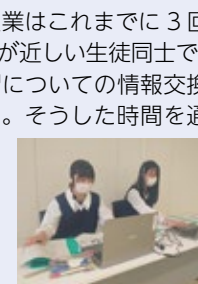
#### 山形県立小国高等学校との交流

11月9日(水)に、山形県立小国高等学校の2年生19名が修学旅行の一環で来校し、大槌高校の2年生58名と交流しました。小国高校とは、2020年から三陸みらい探究の授業内でオンラインを活用した連携を継続的に行っていて、毎年2年生の生徒同士が交流してきました。対面での交流もこれまでに何度か計画されていましたが、コロナ禍の影響で中止になる状況が続き、今回ようやく実現することができました。



##### オンライン探究連携の様子

今年度の連携授業はこれまでに3回行い、興味や関心が近い生徒同士で、お互いの探究学習についての情報交換を重ねてきました。そうした時間を通じて関係性もできてきたために、多くの生徒が対面での交流を心待ちにしていました。



##### 11月9日(水)の交流会の様子

大槌高校と小国高校がそれぞれワークショップを準備し、8つのグループに分かれて実施しました。大槌高校からは、津波発生時の自身の避難行動に関する考えを共有する「クロスロードゲーム」を行いました。海がない環境で暮らす小国高校の生徒の考えに対して、異なる価値観から学びを得ようと真剣に耳を傾ける大槌高校生の姿が印象的でした。

